



兵庫県知事選で初当選した齋藤元彦知事(43)が2日午前、就任式に臨んだ。第53代知事で戦後最年少となる。「新型コロナウイルス対応や人口流出などかじ取りの難しい時代の中、職員の方々とワンチームになって新しい兵庫をつくってきたい」と所信を述べ、刷新を掲げた県政を始動させた。

午前10時、県庁に出動し、1号館中庭で花道を「荒木一聡副知事は「齋藤元彦知事は職員約千人の つくる職員らに一礼をしなす。知事とともに県民の生命と健康を守っていききたい」と

就任式「ワンチームで新しい兵庫を」

齋藤県政本格スタート

①就任式に臨んだ新兵庫県知事の名前を書きましょう。

知事

②新知事は第何代知事で年齢は何歳で、戦後年齢としてはどうなりますか。

③最優先課題として挙げたのは何ですか。

④県政刷新の司令塔として設置されるのは何ですか。(仮称)

⑤前知事の名前と就任期間を書きましょう。

⑥新知事に期待することを書きましょう。

歓迎のあいさつ。齋藤知事は「新しい県政を望む県民の負託を受けた。大きな責任感と緊張感を持って歩んでいきたい」と決意を新たにした。

最優先課題に挙げたのはコロナ対策で「つらくて厳しい局面にある県民を守り、支えなければいけない」と力を込めた。県政刷新の司令塔となる知事直轄の「新県政推進室」(仮称)の設置について「20年ぶりの知事交代。知事は決して万能ではないので知恵を借りたい。業務を効率化してクリエイティブな仕事に励み、県民にもっと寄り添ってほしい」と語り、職員に県民目線の徹底を訴えた。

就任式を終えた齋藤知事は、県幹部が参集した政策会議に出席。その後、県議会に足を運んで各会派をあいさつして回った。同日午後3時からは就任会見を行い、終了後に井戸敏三前知事と事務引き継ぎをする。(金 晏革)

職員から就任祝い
の花束を受け
取る齋藤元彦知
事＝2日午前、
兵庫県庁(撮影・
中西幸大)



NEXTに
動画